

沖縄の歴史を通して沖縄問題を考える

講師：川平朝清さん

(昭和女子大名誉理事・名誉教授 通訳や音楽の分野で琉球王朝に仕えた川平家の末裔)

日時：10月12日(金) 13:00~15:00

場所：オルタナティブ生活館 301 会議室

(新横浜駅下車徒歩 10 分 / Tel. 045-472-5151)

参加費：500 円 (会員無料)



今年 4 月、南北朝鮮の首脳によって、朝鮮戦争の終結、朝鮮半島の非核化を含む平和や繁栄、統一を目的とした板門店宣言が出されました。また、6 月に行われた米朝首脳会談では、米韓合同軍事演習の中止や、今後の在韓米軍の撤退の可能性について言及されるなど、東アジアの核や軍事均衡、基地をめぐる動きが活発化しています。一方、安倍政権は、日米同盟の深化と軍事力強化による「抑止力」をもって、「積極的平和」を実現するとし、安保法制の強化や集団的自衛権の行使、9 条を変えるための改憲の動きを強めています。また、唯一の被爆国であり国際社会の一員である日本が核兵器禁止条約に賛同しないなど、対話による平和構築への道筋を描こうとはしていません。

こうした中、沖縄ではこの 6 月 23 日、太平洋戦争末期の沖縄戦での犠牲者を追悼する「慰霊の日」を迎え、改めて戦後の過酷・過剰な基地負担と背負ってきた歴史に対し苦悩と憤りが表明され、いや応なく政権との対立関係を強めています。しかし、これまで私たち市民は、沖縄が抱える問題に対して強い関心をもって向き合ってきたでしょうか。基地問題を考えていくためには、問題の根底にある沖縄の歴史について知ることが重要です。問題は多岐にわたりますが、現状にいたる沖縄の歴史を中心に学んでいきたいと考えます。どうぞふるってご参加下さい。

<今後の予定>

学習会 (2019 年 1 月下旬) : テーマ「日米地位協定の課題と北東アジアの平和構築を考える」
スタディツアー (2019 年 3~4 月) : テーマ「横須賀基地の現状から学ぶ (横須賀基地周辺視察等)」

【お申し込み・お問い合わせ】

資料準備等の都合上、10/7 までに参加型システム研究所までお申込みください

参加者名	
所属	
ご連絡先	